



薩摩ボタンが
出来るまで。

Process 8



① ボタン生地



薩摩ボタンの素材は、薩摩焼の「白薩摩」を用意します。(白薩摩は陶器の一種)

② 下書き



デザインを決めて、極細水性ペンで下書きします。(ペン跡は窯内で蒸発します。)

③ すじ描き



極細イタチ毛を使い、マット金(金又は白金と油を混ぜた液)で輪郭を取ります。

④ 色入れ



陶磁器用の絵の具をすり鉢で摩り込み、マット金の輪郭内に色を入れます。

⑤ 窯入1度目/焼成



小ぶりの電気窯で750度(約4時間)で焼成し、自然冷却(約5時間)を行います。再び陶磁器用絵の具で色むらを修正し、再度「4」の工程を行い、「6」のように仕上がります。

⑥ 窯入2度目/修正



⑦ 窯入3度目/金彩色



マット金で、細かい金彩色や盛金を施し、620度(3時間半)で低温焼成します。

⑧ 完成



最後の工程では、金を磨き上げ、金特有の輝きを放せば完成となります。

Complete !!